

MOVEは、行動する、感動させるといった意味を含みます。  
会員をはじめ、産業界、地域のために全力で行動します。

川口商工会議所会報「むうぶ」

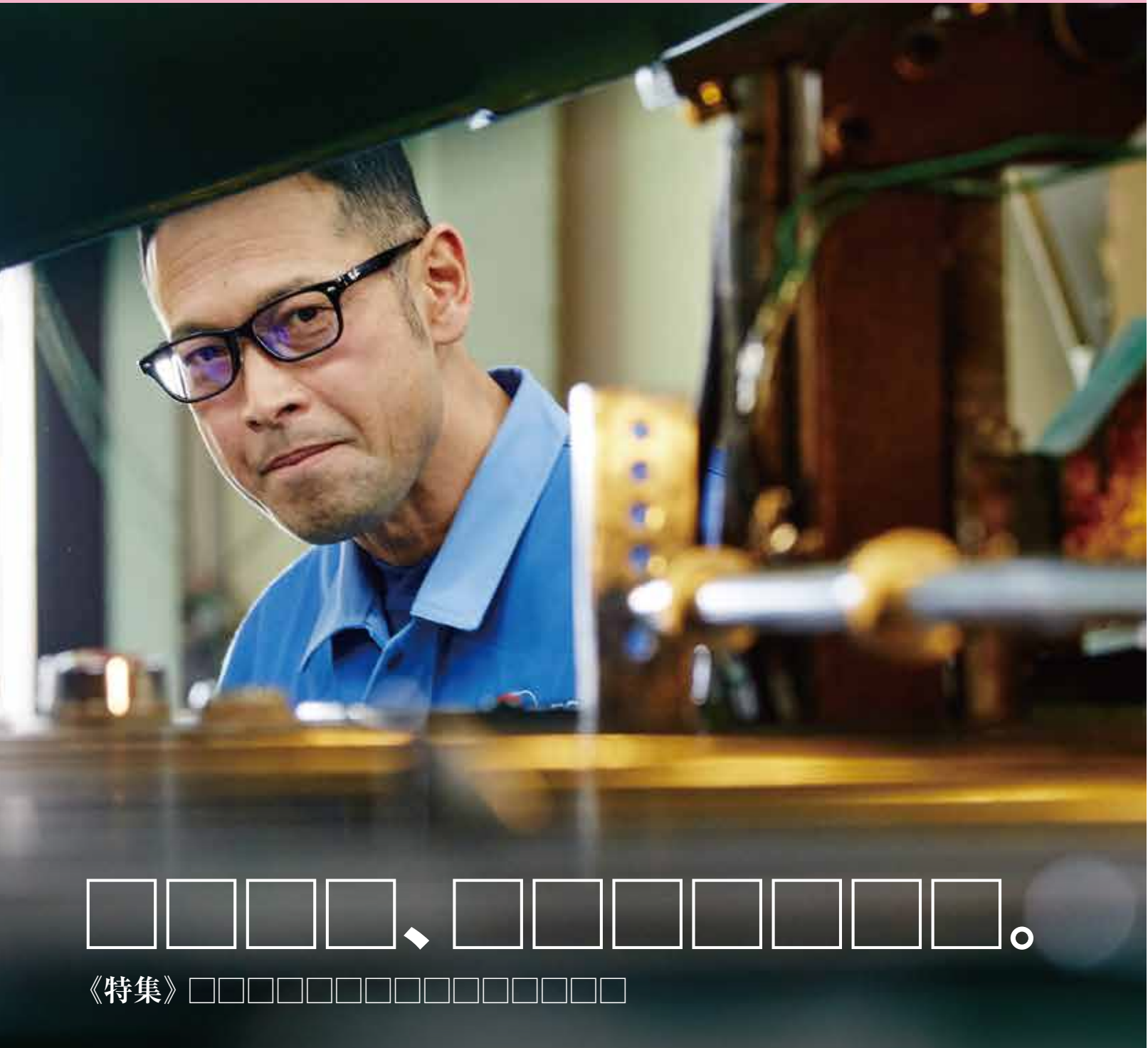


川口商工会議所は「健康経営優良法人2020」に認定されています。

# MOVE 4

2020  
April  
Vol.557

The Kawaguchi Chamber of Commerce & Industry



《特集》 □□□□□□□□□□□□□□□□

◎今月の表紙 / 株式会社エガワ 代表取締役 中里 茂之さん





## 今月の表紙 株式会社エガワ

代表取締役 中里 茂之さん

紙と紙を糊(のり)で貼り合わせるとき、糊しろ部分が反ってしまったり、ベコベコした経験はなからうか。これは、紙と糊の性質上、一般的にはやむを得ない。普通ならば、「こんなものさ」と、看過されることも多いだろう。しかし、産業界には、このような作業においても、「絶対に反らすまい」と奮闘しているプロフェッショナルが存在する。しかも、彼らは、豊ほどの大きな紙でも、目を見張るようなスピードをもって、ピタリと見事に貼り合わせてみせる。それが、今年度初の表紙の企業、株式会社エガワである。「合紙(ごうし)」とその「抜き」加工における、国内屈指のスペシャリストたちなのだ。

「合紙」とは、紙と紙、あるいは、紙と異素材の台紙を貼り合わせることでできる紙工(しこう)製品のひとつである。言葉としては耳慣れないが、実は私たちは日々目にしており、例えば、コンビニやドラッグストアなどの店内を彩る商品広告、著名人やキャラクターなどの等身大パネル、また、建材やインテリアなどのカタログ類にいたっても、そのほとんどが合紙によってつくられた製品となっている。

「良質な合紙とは、反りや歪みのない、真っ平らなものを指しています。特に、台紙の両面に紙を貼る合紙は、加工過程で反りが出やすく、それをうまく回避するには、両面同時に貼り合わせるという、スピードが重要になってくるんですね」と話すのは、代表の中里茂之さん。同社では、この両面同時貼りを追求するため、日本に5台しかないという三枚同時合紙機を2台も所有しているそうだ。これら最新鋭の機器を駆使できることが、エガワが誇る「高品質かつ短納期」の合紙加工の礎(いしずえ)なのである。

そして、同社をさらなる高みに導いたもの。それは、5年ほど前から始めたという「抜き」加工の技術力だ。合紙を規定の形に抜き取るこの抜き加工は、通常、別の業者が担うものだが、

「合紙はかさばりますし、重いから。運送代に割くお客さまの負担を軽減するため、当社では抜き加工まで一貫して行える体制を整えているんですよ」



企業DATA  
本社：埼玉県川口市東領家5-6-20  
TEL:048-227-3012  
www.egawa-shiko.co.jp



とはいえ、40年以上「合紙一筋」できた同社にとって、抜き加工は未知の世界。導入するか否かの決断は、当時、非常に勇気が要(い)ったそうだ。

「ただ、それがお客さまからのニーズという形で、自分たちが開かれた可能性のように感じられたんです。自分たちにとって、“必要なこと”であると――」

軸はブレない。でも、視野は広く。そして、しかるべきタイミングで“挑戦”へと舵を切る。

今、抜き加工は、合紙と並びエガワが誇る基幹事業となっている。



反りや歪みのない良質な合紙をつくるためには、糊のセレクトも非常に重要なポイントだ。素材に合わせてどんな糊を使うのか、また、どのくらいの厚さで塗布するのかが、接着具合や仕上がりの美しさを決める技術の要(かなめ)となっている



専門家のレクチャーを受け、ゼロから始めた抜き加工。現在では、合紙加工と負けず劣らぬ評価を得ており、エガワの『全自動合紙機と抜きの一貫加工技術』は、川口i-wazaブランドにも認定されている